

2024 年度
福祉医療マネジメント研究科（専門職大学院）
教育課程連携協議会 議事録

日 時：2025年2月1日（土）13:00～ 場 所：C館6F会議室

■出席者：

<委員>

藤谷克己（文京学院大学 福祉医療マネジメント研究科）、石井賢一郎（文京学院大学 社会教育グループ）、湖山泰成（湖山医療福祉グループ）、亀田俊忠（亀田総合病院）、成澤廣修（文京区長）、後藤克彦（日経リサーチ社友）

<オブザーバー>

亀川雅人（研究科委員長）

■欠席者：

<委員>

弦間昭彦（日本医科大学）、坂本すが（東京医療保健大学）、大川淳（横浜市立みなと赤十字病院）

1. 会議概要

教育課程連携協議会は、専門職大学院設置基準に基づき、最新の産業動向や地域社会の意見を教育課程に反映させることを目的とし、その設置と開催が義務付けられているもの。開催にあたり、藤谷協議会委員長より協議会の趣旨と目的について説明がなされた。続いて亀川研究科委員長より、資料を用いて研究科の概要と現況について、以下の事項に関する報告と説明がなされた。

- 教育課程連携協議会について
- 研究科の在籍者について
- 研究科の教育課程について
- 研究科の修学支援について
- 研究科の募集入試について
- 授業科目に関する学生の意見

続いて、これらの内容を踏まえ、委員による意見交換を行った。主な意見・提言は以下の通りである。

- カリキュラム編成とターゲット層について：医師や看護師だけでなく、介護福祉施設のリーダー層や管理職を明確なターゲットに据えるべきとの意見があった。また、実務に従事する社会人が受講しやすくなるよう、授業科目名をより具体的かつ平易な名称へ見直すことや、現場のニーズが高い「福祉防災教育」や行政と連携し

た「医療政策」等の領域をカリキュラムに取り入れることについて提言がなされた。

- 教育環境と修学支援について：留学生に対し、修了後のキャリア（就職・就労）を見据えた支援体制の強化が求められるとの指摘があった。また、ディスカッションを中心とした授業の質を担保するため、開講科目数の適正化や、一科目あたりの履修者数の確保についても議論がなされた。

なお、全体として本研究科の社会的意義や教育課程の充実を評価する声も挙がった。

2. 閉会及び次回予定

以上の議事をもって、委員長が閉会を宣言した。次回の協議会は 2026 年 2 月上旬 に開催予定である。

以上